

I 類 論文課題

【畜産】

日本の畜産は、家畜改良による生産性の向上と、規模拡大による生産量の増大により生産基盤を強化し、安定的に発展してきました。

しかし、近年の畜産を取り巻く環境は、国際情勢の変化や円安などによる飼料・生産資材価格の高騰、生産者の高齢化と担い手の減少による労働力不足、高病原性鳥インフルエンザ等特定家畜伝染病の発生、都市化・混住化による環境問題の発生など様々な課題を抱えています。

その中でも、生産費に占める割合が高い飼料価格の高騰は、経営に与える影響が大きく、全畜種において経営収益は低下しています。

一方、生産された主な畜産物は、市場でのセリなどで価格が決定しており、上昇した生産コストを上乗せした価格での取引にはなっていません。

そのため、国では、生産コスト等を適正に価格へ反映することを可能とする仕組みについて検討を始めました。

そこで、これらの状況を踏まえ、今後、所得の確保ができ、持続的な畜産経営を行っていくためには、どのような方策があるか、下記のキーワードを2つ以上使用して、あなたの考えを述べなさい。

<キーワード>

- ①自給飼料 ②稲発酵粗飼料（稲ホールクロップサイレージ・稲WCS）
- ③飼料用米 ④子実用トウモロコシ ⑤エコフィード ⑥耕畜連携
- ⑦飼料生産組織（コントラクター・TMRセンター） ⑧肥育期間短縮
- ⑨省力化 ⑩省エネ ⑪需給バランス ⑫高付加価値化 ⑬輸出
- ⑭価格転嫁 ⑮理解醸成 ⑯副産物 ⑰ICT技術 ⑱優良家畜
- ⑲ゲノム情報（ゲノミック評価） ⑳飼養管理（飼養管理技術）